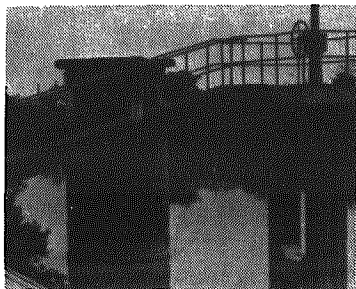


絶対やめようやらせまい 「シンナー遊び」

最近青少年の間、シンナーや接着剤におもいかぐ危険な遊びが流行し、大きな社会問題になっていきました。シンナーや接着剤はペンキを溶かしたり、物と物を張り合せたりするため作られたものであり、人間や動物にはきわめて有害な物質をたくさん含んでいます。このおもいかぐと、初期は頭痛やめまい、はき気などの自覚症状があ



飲料水源です！ 河川にごみは絶対捨てないよう

河川にごみを投棄すると法により罰せられる場合があることは存じますが、皆さんが毎日使用する水は中ノ口川から取水しているのです。従って河川にごみやその他の物を投棄すれば、自分らわれませんがさらに長く続けると酒に酔ったように頭がもうろうとなり、自制心を失って道路や公園でゴミを捨てたり、犯罪を犯したりするようになります。その人の性別や年齢その他によって個人差がありますが、何回も繰り返して行くと習慣性となり、脳の中樞神経や呼吸神経をマヒして、ついには死亡、または死亡しないまでも廃人同様になるという恐ろしいものです。ところが青少年は模倣心が強いだけに知っていることに優越感を持ち、傾向があり、そのため有害であることを承知しながら、友だちに誘われたりすると、ついまねをしてしまいがちです。シンナーや接着剤におもいかぐしていたため警察に捕縛された青少年は、昭和四十二年に県下で五名あったのが昨年十月十日現在既に二百名を突破し、これはいわゆる氷山の一角に過ぎず、実際には相当多数に上ると考えられます。わが子の健やかな成長を願わない親はありませんが、シンナーや接着剤の乱用によって死亡したり犯罪を犯したりするようなことが

自分の体を汚しているようなものなのです。本村の浄化施設はもとより国内における浄化施設においても現在問題になっておる、PCB等を除去する施設は整っておりません。従って、これらに類する汚物を投棄すれば飲料水として当然体内に吸収され汚染されるわけですので、河川は常に清潔にしていましょう。川のはり

「ガンギ」の不正使用はやめましょう!!
最近「ガンギ」通りに歩行者が通れないような状態で商品を陳列したり、自転車を放置するなど「ガンギ」の不正使用が目立っております。『ガンギ』は私有地だからどのように使っても良いというものではなく、皆さんが安心して通れる歩道なのです。『ガンギ』通りは広々としたおきまじゅう、警察でもこれについて指導を行っております。黒崎幹部派出所 柳作の西村久三さん 田中角栄 村上信彦 佐多福子 水上勉

このままで良いだろうか 青年団は？
今の時代でこのまま青年団を続けていくことはたいへんむずかしいことだと思ふ。農業の生活が都会に近づく、だんだん人々のくらしが豊かになってきた。庭には車が二、三台、家は御殿のようになすばらしさ、どこを向いても、ほんとうに農村は豊かになったのか。そんなはずはない、米価据置、米の生産調整、こんな状態の中で人々は日雇い、出稼ぎをして車を買ひ、家を作ったのだ。農業期を除いて老いも若きも、女も男も出稼ぎ……
こんな忙しい時に青年団も何



文化史料館に 五千円寄贈 亀員出身 稲田久香氏

新潟市亀員出身（東京都在住）の稲田久香さんは、本村文化史料館で使ってほしいと五千円を寄贈下さりました。

稲田さんのあたたかい善意に感謝すると共に、さっそく教育委員会と相談の上、紫檀（したん）（終ひいらぎ）の樹木を購入し前庭に植えたいことに保存したいと思ひました。たいへんありがとうございます。その外、民具等も寄贈下さったことを付け加えます。

安全へ止まろう待とうその一歩〔歩行者向け〕

一般会計 一九〇〇余万円追加 予算大中に補正

去る、五月九日、黒埼村議会第一回臨時会が開催され消防署設置により、予算が大巾に補正された。これは村単独による消防署の設置に伴い、歳入では地方交付税と県支出金を含め一千九百九十九万円が見込まれ、歳出については廃茶処理費として焼却炉の修理費として三〇万円計上し、また消防費としては、職員増加による人件費の増大や救急自動車購入費など一千七百九十九万円が主な補正内容である。



第1回臨時村議会

歳入 (単位 千円)

款	項	補正前額	補正額	計
4.地方交付税		199,000	18,021	217,021
	1.地方交付税	199,000	18,021	217,021
9.県支出金		11,810	1,000	12,810
	2.県補助金	6,311	1,000	7,311
歳入合計		518,351	19,021	537,372

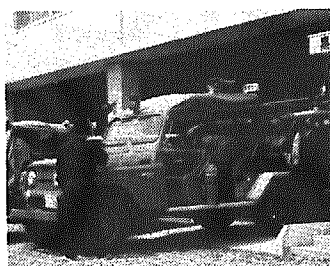
歳出 (単位 千円)

款	項	補正前額	補正額	計
4.衛生費		57,293	1,300	58,593
	2.清掃費	47,030	1,300	48,330
9.消防費		15,479	17,721	33,200
	1.消防費	15,479	17,721	33,200
歳出合計		518,351	19,021	537,372

（郵政省）三兆円突破
〔簡保の資金〕
簡保の資金は、四月四日で三兆円を突破しました。この資金は、みなさまが、毎月保険料として払い込まれているお金で、保険金、配当金として支払われるまでの間「確実」、「有利」、「公共の利益」になるように公社・公団・公庫や地方公共団体等に貸出されております。貸し出されたお金は公営住宅・教育施設・病院・上下水道などみなさまの身近なところで役立っております。信越管内の三月末現在の融資額は長野県百七十億八千九百万円、新潟県百八十七億百万円となっております。

明るく正しい選挙
推進作文及び標語を募集
明るく正しい選挙啓発事業の一貫として、国及び地方選挙を問わず、選挙が明るく正しく行なわれるためには、どのような方法がよいのか、又は選挙する人は、候補者は、選挙運動はどうあるべきか、などを寄せ下さい。
採用文は「広報くろさき」に掲載し、明るく正しい選挙推進に役立てたいと思ひます。
作文は四百字詰原稿用紙一枚以内、標語の数は制限しません。
宛先 黒埼村選挙管理委員会 (役場内)

去る、五月九日、黒埼村議会第一回臨時会が開催され、消防署の設置等に関する条例の制定など議案七件は原案どおり可決した。消防署の設置等については昨年の新町大火に際し巨額が視察に来村した際、政令指定について県も協力願いたいと強く要請したもので、当時は市街地の人口が二十万人以上という基準をわずかに三百人以上に満たないため却下されたが、急速な人口増加により基準を上まわり、四月十五日（四月一日から適用）政令指定がなされた。これにより消防署の設置、消防職員二十一人以上の定数化が義務づけられ



整備は一日もかかせない

あれから1年

4・28新町大火
四十六年四月二十八日午後六時頃、風速十五mと異常乾燥の地蔵様附近より出火した火の手はまたたく間に燃え広がり、一瞬にして二十九世帯を焼失してしまつた。翌日は早朝から初まつた現場検証も空しく、いまだ原因は究明されていぬ。しかし、あれから一年経過した今日では復興も急ピッチで進み、あの悲惨なつめ跡はまっくらみられな程、すっかり立ち直つた。



復興なった新町土手裏

あせらずに心と距離にゆとりを持って〔運転車向け〕